

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

両城中学校区 校番 20 学校名 呉市立港町小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	目標、指標の設定は、維持されており、適切である。新型コロナウイルス感染症が、流行しているなか、この維持は、評価できる。新型コロナウイルス感染症が、猛威をふるっているなか、教育における目標、指標の設定が維持していることに、教職員等の努力が、見受けられる。引き続き、本年度の目標、指標が、次年度の高いレベルの目標、指標に続くことを期待したい。
目標達成のための方策の適切さ	A	目標達成のための方策は、適切である。この方策が、厳しい社会的状況下において、堅持されていることを評価したい。新型コロナウイルス感染症の第6波の襲来のなか、これに対処しながらの、目標達成のための方策の実践は、非常なる困難を招来させていると伺われる。児童への身体そして心への配慮も要求されていると思われる。目標達成のための方策も、次年度へつながるよう、期待したい。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	自己評価の結果と分析は、適切かつ妥当である。新型コロナウイルス感染症の流行が続く、学校運営の極めて多忙の状況下においても、客観性のある分析がなされていると、評価する。教職員の努力が、伺われる。この結果と分析を次年度への教育、学校運営に、繋げていただきたい。厳しい社会的状況下でも、より良い学校への前進を期待する。
今後の改善策(案)の適切さ	A	今後の改善策の適切さも肯定できる。新型コロナウイルス感染症が全国的に、流行している。今後の改善策に従って、本校の教育を実践することは、大切なことではあるが、この度の感染症の動向及び影響は、予測できないところである。場合によっては、臨機応変な対応を余儀なくしなければならないことを、教職員で認識し、情報の共有をお願いしたい。(この項目における意見・理由は、今年度の中間の評価と同じとしたい。)
その他		新型コロナウイルス感染症の第六波という経験したことのない社会的状況、社会的環境が、教育界にも、大きな影響を及ぼしている。児童、保護者の負担とともに教職員の負担もかなりのものと思われる。教育機関としての学校の教育の継続は必然ではあるが、この試練を切り抜けていただきたい。児童等の健康も尊重に値することではあるが、これを支える教職員の健康にも互いが留意されることを願う。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>中間に引き続き、最終の「今後の改善策」も、各部で話し合っ考え、全教職員に周知したものである。各部が見いだした課題や改善策を来年度の学校評価に十分に生かしていく。来年度も、方策の作成のみで終わることがないように、「毎月の分掌部会で各部長を中心に進捗状況やさらなる改善策を話し合い、企画委員会で報告する」という取組を継続し、学校一丸となって確実に進めていけるよう努力を続けていく。</p>
--------------------	---